

平成24年9月定例会会議録（第3号）

平成24年9月10日 月曜日 午前10時00分開議

蒲 生 光 男 議 長 安 部 隆 副議長

出 席 議 員 （ 1 5 名 ）

1 番	赤 間 泰 広	議 員	2 番	梅 津 善 之	議 員
3 番	江 口 忠 博	議 員	4 番	今 泉 春 江	議 員
5 番	小 関 秀 一	議 員	6 番	竹 田 博 一	議 員
7 番	我 妻 昇	議 員	8 番	大 道 寺 信	議 員
9 番	町 田 義 昭	議 員	1 0 番	佐 々 木 謙 二	議 員
1 1 番	安 部 隆	議 員	1 2 番	洪 谷 佐 輔	議 員
1 4 番	大 沼 久	議 員	1 5 番	小 関 勝 助	議 員
1 6 番	蒲 生 光 男	議 員			

欠 席 議 員 （ 1 名 ）

1 3 番 高 橋 孝 夫 議 員

説 明 の た め 出 席 し た 者

内 谷 重 治 市 長	飯 澤 常 雄 総 務 課 長
平 英 一 財 政 課 長	遠 藤 健 司 企 画 調 整 課 長
青 木 邦 彦 税 務 課 長	宇 津 木 正 紀 市 民 課 長
松 木 幸 嗣 健 康 課 長	小 泉 良 一 福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長
種 村 正 一 子 育 て 支 援 課 長	遠 藤 正 明 会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
堀 越 俊 一 郎 監 査 委 員	加 藤 弘 二 教 育 委 員 長
加 藤 芳 秀 教 育 長	遠 藤 誠 一 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長
鈴 木 榮 一 農 業 委 員 会 会 長	那 須 宗 一 農 林 課 長
中 井 晃 商 工 振 興 課 長	平 正 行 観 光 振 興 課 長
渡 部 政 明 建 設 課 長	浅 野 敏 明 ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長
鈴 木 要 一 郎 上 下 水 道 課 長	鈴 木 一 則 管 理 課 長
齋 藤 理 喜 夫 文 化 生 涯 学 習 課 長	佐 藤 孝 博 生 涯 ス ポ ー ツ 課 長
齋 藤 環 樹 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長	高 橋 徹 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長
児 玉 行 宏 監 査 委 員 事 務 局 長	孫 田 邦 彦 農 業 委 員 会 事 務 局 長

事務局職員出席者

松本 弘 議会事務局長
鈴木 和夫 議事調査係長
寒河江 新一 補佐
高橋 由美 庶務係長

議事日程（第3号）

平成24年9月10日 月曜日 午前10時00分開議

日程第1 市政一般に関する質問

5番 小 関 秀 一 議員
8番 大道寺 信 議員
7番 我 妻 昇 議員
2番 梅 津 善 之 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

開 議

○蒲生光男議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

なお、13番、高橋孝夫議員から、本日の一般質問発言通告の取り下げと会議に欠席したい旨の通告があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

また、新野 潔副市長並びに鈴木 智消防主幹から、本日の会議を欠席させてほしい旨の届け出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

また、大道寺 信議員、梅津善之議員の質問に際し、内谷重治市長から答弁説明資料としてパネルの持ち込みについて申請があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○蒲生光男議長 日程第1、市政一般に関する質問を7日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

小関秀一議員の質問

○蒲生光男議長 順位6番、議席番号5番、小関秀一議員。

(5番小関秀一議員登壇)

○5番 小関秀一議員 おはようございます。

市民生活の未来に向けた安全な生活のために一般質問をさせていただきます。

猛暑の続いた夏も、秋祭りのイベント、各種運動会などを境に実りの秋を迎えようとしております。自然、特に水に恵まれた当地区の環境がいかに幸せな暮らしを育んでくれるのか、各地で起こる災害を聞くにつけ、感謝のきわみでございます。未来に向けての大きな財産でもございます。

そうした市民の暮らしの背骨、さらにはへそとも言える行政の大綱、第5次の長井市総合計画策定のため、長井市振興審議会が、第1回目3月29日、新会長の山本の北川先生はじめ、18名の委員でスタートされました。各界各層から人選の中、特に私は前回会長を務められました渡部秀一氏が委員になられたことも多少安堵感を覚えました。

第4次策定期の長井市の財政の厳しい中、行財政改革を伴いながらの10年計画の策定は、予想外の大変な作業だったと思います。しかし、諮問された当時の目黒市長の決意も含め、改革改善の10年の意義ある総合計画であったことを改めて考えさせられます。

ゆえに総合計画に沿った行政運営が必要であり、実質公債費比率、当時27.7%から、市民の協力で改革が進んだことも、筋の通った実施計画が行われたことというふうに重要ポイントだと思っております。

そうした点で第5次に向けた議論の中で最も大切なことは、総括。市長も8月1日、議会との協議会の場でもおっしゃったとおり、総論から始まるのだろうというふうに考えます。事務的な手順としては総括表に沿って各課ごとに関係する個別計画、現状の進捗状況、成果と課題、今後の方向性の作業を経て、それぞれ6本柱であったまちづくりの基本目標に沿って検証され、新たな今後の10年の計画が策定されることを大